

刊夕日四月十

# 常警每日新聞

定額一圓五角  
 廣告刊費  
 印刷部  
 電話六三〇番  
 發行所  
 常警每日新聞社  
 印刷所  
 常警每日新聞社

## 象徴と寫實と(中)

挿繪に對する私見

水野 秀雄

或る小説が、同じ場面の同じ人物で、二十回近く書きつゞけられたことがあつた。

ところが、その小説の挿繪を受持つた畫家は、非常に有名な人だつたが、その時だけはほとほと困却したさうである。

はじめは、その場面の情景——人物も背景も、みんな書いたのださうである。次も、同じ場面だつたので會話の中心人物を取り出して、その像を書き、次には人々の向きを變へた。

## ノート

日常の食物に鐵分が不足すると顔色が蒼白となる鐵分の多いのは菠菜草ちさ水菜等の青菜類

の置き場所を變へてみたり人物の後姿を書いてみたりまたは、あんまり主要でない人物の顔を大きく書く書いてみたり……。

まつたと述懐してゐた。

それは至極無理のない述懐だと思ふが、しかし僕はこの場合もう少し考へてもいいことがあつたのではないかと思ふ。

つまり、この場合、この畫家はひまりに寫真に忠實

## 明日の献立

- 【朝】牛乳 トーストジヤム バイナツプル
- 【晝】玉菜——煮浸し 福神漬 らつさやう
- 【晚】清汁 鶏肉まるめ 三葉——刺身まぐろ——わさび

でありすぎたとおもふのである。時には、小説に出てくる場面ばかりを書かずに小説の内容を象徴的に書いて、彼はそんなに苦勞しなくとも濟んだらうとおもふのである。

尤もその日の小説によつてはどうしても象徴的な挿繪を必要とする場合がないでもないが、さういふ場面の外にも、同じ場面が長いこと續くやうな時には當然さうあるべきだと信ずることに舉げた場合など、その最もよき例であらう。

ぐにわかるやうなものでなければならぬ。

まるで謎のやうな、ちよつとくらゐ考へたんではないやうなもので困るならば、象徴的挿繪にはどのやうな注意が必要であるか?



## 俳句

木村 青涼  
 砂冷や月見草咲く河原かな  
 秋晴や崖の上なる古刹の朱  
 下駄箱の隅に淋しき虫の聲  
 秋の灯や雜魚選る菘汐しめり  
 風鈴に月影深き壘かな  
 この浦は暗礁多し小夜千鳥  
 ほ茫や晝も灯ともす發電所  
 雁なくや入江に近き小松原

### 吉田眼科病院

醫學士 吉田 久雄  
 平畑屋町 電話六八八番

### 中村齒科醫院

平町 鍛冶町七

### 開業御披露奉任

お酒に三品(外に)  
 永年谷口樓でお得意様の御用を勤めました。が今回左記の通り開業致しました。何卒御ひろきを願ひます。

平町 新田町  
 三日 松 富  
 電話二四七番

### 井坂醫院

平町田町 電話五五九番

專門  
 産科  
 婦人科  
 花柳病科

◎入院隨意

### 魂の入った 機關銃印の自轉車

日章旗の如く輝く特長  
 一、全部鋼鐵、特種壓搾製  
 二、自動注油、防水防塵、裝置  
 三、ヘッド及びホークのスプリング作動

斯界に比なき多數の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上。而かも悪路でも振動を感ぜず、その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります。

機關銃印の自轉車(宣傳中) 五十八圓  
 戰車の如く頑強だと御評判を賜りました

フタバ式超重量用リヤカー(宣傳中) 廿五圓  
 永年修繕費のかゝらぬ  
 兩車の御利用を切に御願ひ申上げます

フタバ商會  
 平・新川町・月見橋際

### 吸入用酸素純度99%

度量衡器  
 モノサシ 體溫計  
 マス 寒暖計  
 ハカリ 器量計

秤ノ取締・垂糸・修繕致シマス

### 關内藥局

電話四〇番

移轉 平・五丁目  
 (モリタヤ東隣り 小野榮吳服店跡)

美術裝身具、ライター  
 指輪、時計と眼鏡類

山崎時計店  
 ◇修繕は技術本位然も自信を以て勉強致します

### 就勞人夫の

### 賃銀値上を交渉

青沼町長が夏井川事務所にも言及するところがあつた

夏井川改修工事は目下平町地内を施工中で同町居住の労働者二百名近く連日出役してゐるが之が就勞平均賃金は男六十五錢、女四十三錢で都會地の匡救事業に比較して低額である爲め青沼平町長は神長倉技手とけふ平町十五丁目の夏井川改修事務所を訪問高橋所長に面會就勞賃金値上げに關して懇談したが更に近く着工される古川改修工事に伴ふ第

### 災害復舊工事は今年度十二萬圓

平土木監督所の査定済む

平土木監督所管内に於ける今年度災害復舊工事は過般來同所調査中であつたが總工費十二萬圓と決定設計成つたがこれが査定のため内務省島田技師一行は來る八日來平、小林所長の案内で災害箇所を實地踏査する

### 中堅農民が現地講習

水戸へ自動車

石城郡農會中堅農民講習會は來る十六日水戸方面に現地講習を行ふことになつたが當日は講習生徒約七十名

### 繭相場がガタ落

昨日の四倉市

昨日の四倉繭相場は出廻り少なく總數五百三十七貫にて最高廿九圓九十錢、最低廿二圓五十錢、馴廿五圓二十錢とガタ落を見せ前日の馴相場より三圓四十六錢と云ふ急落振りである

### 常設消防

警備委員協議

平町警備委員會は今日四日午後一時から開き先般來計畫を進められつゝあつた常設消防隊の組織及び既報舊撤水車の改造豫算の件を附議する

### 職業指導週間に

平職業紹介所が大宣傳

平職業紹介所では職業指導思想の普及を圖る爲め縣社會課と呼應して來月十日から一週間に亘り第四回職業指導週間を実施することになつたが同週間中は宣傳ビラ印刷物等を各方面に配布して趣旨徹底を計り又女子青年團その他各種團體の應援を得て大々的に求人開拓を行ひ週間の實績を擧げる外座談會等の記念催物をも開くべく目下準備を進めてゐる

### 善光寺参り

### 今朝出發

平驛で過般募集した群馬縣水上温泉長野善光寺方面團體旅行の平驛應募者五十二名は今朝六時の臨時列車で出發したが歸平は六日午後八時平驛着の豫定である

### 『眞道』の

十月號出現

中村月城氏主宰「眞道」第八號十月號が發行された中村月城「現世主義の淨化」自己に死して神に生き犧牲的精神に動け！と説く崇高の一文川崎小島「童話講座」大森醫學士「食物は如何して血液となるか」中村牧師「基督と第三文化の創造」同「大和民族と基督教」は愈よ出て愈よ該博、今や核心を衝かんとする短歌、料理その他例題記事、今月號は

### 振旗氏記念品

江名町小學校長振旗氏が今回高等官七等待遇に任ぜられたので平第三小學校の新年訓導は豊間鹿島江名の各縁故學校職員と共に振旗校長に記念品を贈ることになつた

### 小名請願巡査

昨報三日付で許可となつた小名濱漁業組合請願巡査の初代巡査は同町古港駐在吉田三郎巡査と決定、四日正式發令されたが平署では之に伴ひ赤井村駐在布施巡査を小名濱古港駐在に命じた

### 平局庭球出場

平郵便局庭球部では來る廿一日仙臺遊信局管内從業員の第六回庭球大會に大將組吉田照知、高久鐵夫と副將組の草野國光、阿保正の四名出場決定したが同局チームは七年度大會で準決勝戦迄奮戦した好記録を有してゐる

### シネマ週報(四日)

▽平館 日活現代劇 大谷俊夫監督 深水藤子 瀧口新太郎主演「夢の中のお嬢さん」チャリット・チャップリン主演「街の大將」日活時代劇 山中貞雄監督 片岡千恵藏 山田五十鈴主演「風流活人剣」  
▽世界館 新興現代劇 東坊城恭長監督 島耕二 森静子主演「消防手」松竹蒲田全發聲 島津保次郎監督 岡譲二 及川道子主演「頬を寄すれば」松竹

### 下加茂 二川文太郎監督

阪東好太郎 飯塚敏子主演「天明旗本傘」後篇

### 平職業紹介所報告

△人を求める方  
△炊事婦 三十才前後 學力不問月三圓  
△女中 三十才前後 尋卒 給料面談  
△座敷女中 四十才前後 尋卒 月二圓  
△活版職工 二十三才以上 尋卒 給料面談  
△職を求める方  
△自動車運転手 二十五才 中學三年修了  
△料理人 二十一才 尋卒  
△事務員 二十七才 商卒  
△炊事婦 四十七才 無學

### 味覺の秋を樂しめる

香氣のよい松茸料理種々  
— 多少に不拘出前迅速 —

### 仕出し 専門 錦水

電四五四

### 外科 内臓外科

レントゲン線  
醫學博士 諸橋鐵彌  
◎新川町二七(電四六四)

書道用半紙  
厚口……………一帖八錢  
薄口……………一帖五錢  
畫仙紙  
白唐紙  
二双紙  
色紙。短冊。畫帖。  
各種取揃へてございます  
マルトモ  
柴田書店  
平町四丁目  
電話 二二四番 二三四番

御障子紙  
一本(四枚張)金廿五錢  
是非御用命をお待ち申して居ります

### 遙か罹災地に

### 純情こめた慰問文

けふ平第一小學校から發送

平第一小學校は既報の如く近畿地方に於ける風水害罹災小學校児童慰問の爲め全校児童より慰問文を募集中であつたが本日各學年より左記児童の作が選拔發送された

- (二年)水津由雄 馬日隆 雄 大嶺慶一 清水宣政 大和田一郎 田代浩康
- (三年)根本孝三郎 川崎次男 青沼康裕 安藤信廣 木豊 吉田美恵 上澤成男 石田吉男 牧野聰郎(四年)八卷邦晴 清水俊政 横山榮一 高階喜政 大塚定 石川榮一
- (五年)三井真一 永山剛一 正木秀夫 綿引史郎 小松崎富夫 岩崎宏次郎(六年)篠山達兒 位々木高滋 清水重政 杉本光男 安藤破魔夫 青木肇 小野勝三 高階文三 杉田要司(高一)藁谷公義 新妻常雄 鈴木光行 鶴沼正利(高二)蛭田忠吾 鷺基一 吉田喜造 林貞男

尙代表作とも云ふべき六年篠山達兒君の手紙及左記の如くである

毎日新聞やラヂオで関西地方の惨状が報告されま

### 救恤品を

### 無賃輸送

平驛では關東地方の風水害被害地へ急送される寄贈救恤品に便宜を興へる爲め東鐵管内各驛と共に来る廿二日より十二月卅一日迄罹災地への無賃輸送を開始する事となつたが救恤品は小荷物及び貨物類で特に無賃輸送品は荷受人が罹災府縣當局宛のものに限られて居る

### 平商秋季掃除

平商は来る二十日放課後秋季清潔法を行ふ

### 水神社の

平町水神社である同町八幡小路鎮座水神社例祭は来る十五日執行される

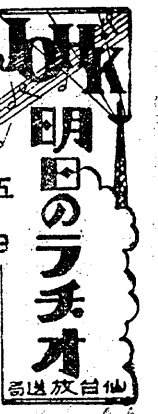
### 叩きのめされても

### 土性骨は直らぬ

住吉屋本店忍込みの男

また平署に逆戻り

高久村上山口生れ住所不定窃盗前科三犯吉松政元(三)は去月二十八日午後五時頃湯本町宇天王崎廣瀬庄太方留守宅に忍入り衣類五品價格十圓を窃取した外郡内各所から十數件の窃盗を働らいた事發覺昨三日平町地内を徘徊中を平署安藤刑事部長に檢擧されたが同人は去る八月十七日平町住吉屋本店に侵入、金品物色中を柔道四段の主人源一郎さんに



明日の天才 西の風晴曇半す

### 今晚の部

- 後六〇〇 子供の時間 お話 神武天皇御東遷文學博士中村孝也
- 後六二五 英語講座(二) 久野朝郎
- 後七二〇 趣味の座談會 「秋の鳥を語る」 鷹司信輔 外三名
- 後八〇〇 校歌と寮歌 第三高等學校生徒有志
- 後八二〇 ビアノ新交響 樂團練習所より中繼
- 後八四〇 琵琶吉村丘城 後九〇〇 落語「抜け雀」 柱三木助鳴物連中
- 後九二〇 時報 ニュー 氣象通報 番組豫告
- 明日の部 前六三〇 基礎佛語講座(七) 目黒三郎

### 保険金三千圓詐欺

大正生命の勧誘員が

若松に身柄を送る

雨上りの明日

第一校運動會

平町十五丁目大正生命保險勧誘員伊藤英雄(三)は數日來平署に留置されてゐたが、若松署鈴木刑事が身柄引取りに來平直ちに若松署に押送された右は若松署管内に於ける保險金三千圓の詐偽横領一味に關係あるものと傳へられ成行き注目されてゐる

### 笑の王者金語樓師

軍人分會へ金一封

滿洲忠靈塔寄附金造成の爲在郷軍人分會が招聘した柳家金語樓師一行の落語の夕は昨夜聚樂館で開催されたが折柄の雨にもめげず熱心な落語ファンが押し寄せ満員の盛況で満場たゞ金語樓の名句調に酔ひ洪笑爆笑し鳴りも止まなかつたが金語樓師は當夜の契約

前七〇一 聖典講義 柴田一能

後八〇〇 記念講演「神武天皇御東遷二六〇〇年祭」宮崎神宮より中繼

前九一〇 料理献立 松茸の酒むし 熊野新一

前一〇三〇 神武天皇御東遷二六〇〇年記念式典 實況 宮崎神宮より中繼

後八三〇 東海道演藝道中(第三夜)解説悟道野圓玉

後九〇〇 端唄 山村豊子

後九五五 日本棋院秋季東西大手合戦續

會は都合に依り來月上旬に延期

好間村運動會 好間村小學校秋季陸上運動會は來る十五日同校々庭に於て男女青年團、青訓、實業公民學校と聯合開催される

唱歌會が延期 既報來る十六日開催する筈であつた平第一小學校々内唱歌會は都合に依り來月上旬に延期

幼女二階から轉落 頭部を強打生命危篤

平町月見町三二春吉次女大野桂子(三)は二日午後五時頃自宅二階窓から轉落頭部を強打諸病入院入院加療中であるが生命危篤

裁判所たより

△玉川村大字住居字濱宿五自動車運轉手高萩亨(三)は好間村愛谷地内に於て赤井村堂平の小森(三)に自動車衝突左足及背部等に全治約一週間を要する傷害を與へ業務上過失傷害罪として罰金三十圓

△平北目町魚行商草野一郎(三)下平窪字四左工門同佐藤忠吉(三)同曲田土工荻野た

吉之助(三)上平窪字横山雜貨商鈴木三三(三)平七軒町魚行商野崎光儀(三)同新川町同野榮吉(三)の六名は賭博罪に依り本日各平區裁判所に於て罰金三十圓乃至六十圓に夫々略式命令を以て處分された

△妻よし(三)に復縁を迫り出刃庖丁を以て顔面兩腕に斬り付け瀕死の重傷を負し双葉郡大字下淺見川農根本辰治(三)は過般來平檢事局に於て清田檢事係の下に取調中であつたが本日殺人未遂罪として起訴決定直ちに平支部の豫審に廻附され

# 新音頭

(藤澤名代上及上)

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

：一五〇：

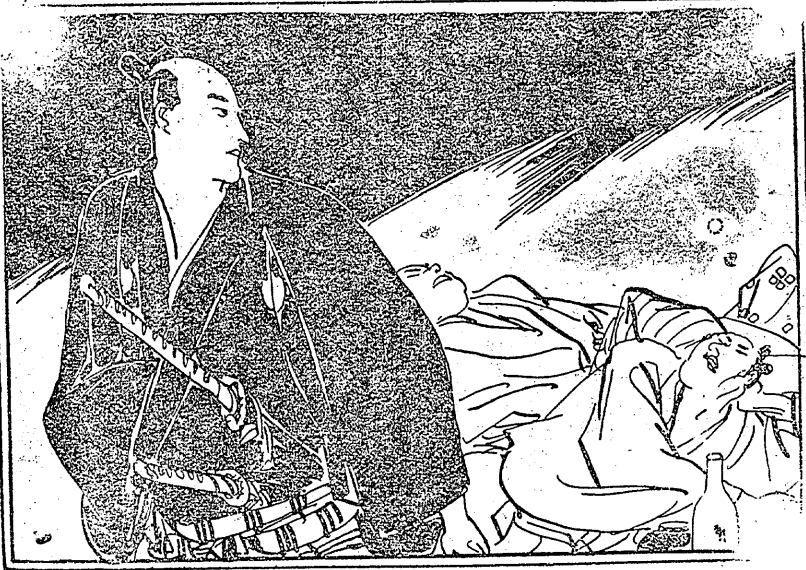
酔はして繩抜け

驚いた長右衛門眞蒼になつて金を出した。役人に取巻かれ縛しめの不自由な身の上で、之だけの大金を騙り取つた。實に權八といふ男は犬膽不敵な奴でございませぬ、纏て權八は、役人一同に向ひ

『私は若年の昔より、血氣に逸り、多くの人を斬り殺し、遂に一度も佛の御名を唱へず打過ぎし事、今更後悔の外ありません、夫につき當所には、遊行寺と申す靈場之れある由、豫て承はりをりませぬか願はくば佛果菩提の爲の金子の内百兩を同寺へお納め致し度く夫にて某が未來の苦も助かり且つは某が爲に命を落せし人々の後生善所を祈り度存じます、又残りの百兩は失禮ながら各々様方へ、道中何かと御苦勞をかけ参らせし御禮のしるしまでに差上げ度し、何卒御酒にても召上がられ、且つ亡後は一遍の、御回向も只管頼み上げ奉る』  
と涙と共に言ひましたから、何れも彼が心底不憫に思ひ  
『如何にも其方の望みに任せ取計らひ得さう』

と、そこで百兩の金子は藤澤名代の遊行寺へ納め、その残りの百兩は役人共が銘々に分ち、又酒肴を取寄せ、女などを呼んで飲み始めました

を外し、與力同心十二人、權八も其の席に列ならせ『この世の酒の飲み終ひだ一杯飲ましてやるがよい』と權八にも一杯飲ませ、一同役目も忘れて唄ふ奴もあれば踊る奴もある、充分に銘酌をして果ては一人倒れ、二人轉がり、何れもグウ／＼高聲で寝てしまつた酌をしてゐる女達も、其の場を退いてしまつたので、後には權八、只一人神妙に眼を閉ちて控へてをりまし



『どうだ各々、囚人の權八も、天命の逃れぬを知り、己れと名乗り出でたる程の者なれば酒宴の席に列なすとも仔細はあるまい、之も何かの功德』  
『イオ夫がよい』  
と、權八を網乗物から助け出し、繩をゆるめ、手

たが、刻限を計つて一座を見廻し仕済ましたりと手早く繩を解き捨て、一人の役人を裸にして、其の衣類を奪ひ自分の着てゐた仕着せを其の役人に着せて衣類の取替つてをした、夫から床の間に筵に包んで置いてあつた己の大小を取つて腰に

差し、役人十二名の懷中を片ツ端から引つこ抜いて調べて見ると、二百兩近くあつたから、それを懷中して『さらば皆さん御機嫌よう……』  
と其の家をブイッと飛出してつた、その中に仕着せを着せられた與力がふと目を覺まして  
『ア、コレ／＼各々、寝て了つては仕様がなさいではなにか、起きなさい』  
一同がヒョイと其の役人を見ると驚いたお仕着せを着て威張つてゐる  
『之は遠藤氏、如何なされた』  
『拙者はどうも致さぬ、御貴殿が寝てをられたのではなにか』  
『我々寝たのは申譯がないが、御貴殿には又何で仕着せなどを着てゐるさる』  
『お仕着せ……アツ、之はどうした事だ、誰だ拙者にこんな物を着せたのは』  
『シテ見ると貴殿も矢ツ張寝たと見えますな』  
『イヤ之はどうも……』  
遂々露顯して了つた。

◎御家庭薬として是非御用意下さい  
熱い湯や火でヤケドなされた時直ぐツケますればヒブクレンにならずなほります  
キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料  
で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さ  
い。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキ  
レイに治ります。

## 太乙膏

平町古鍛冶町一〇

## 阿康薬舗

電話四四〇

専賣店

## 木村外科醫院

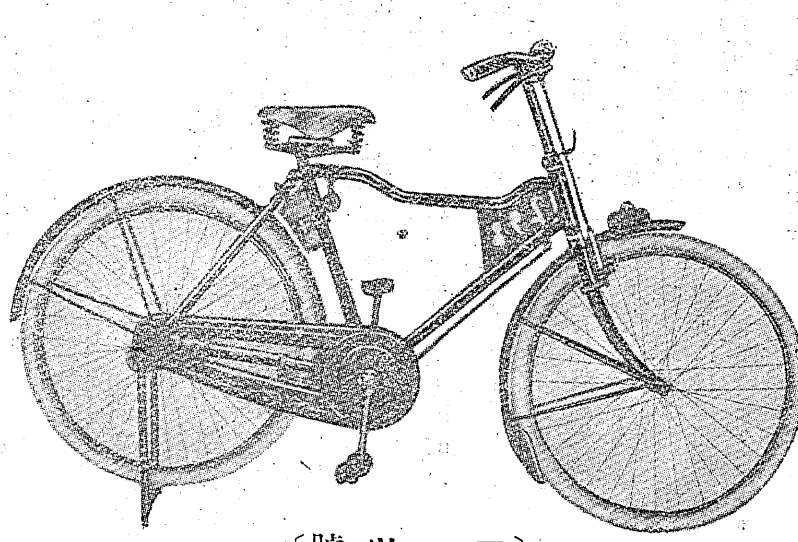
平町六丁目橋際  
電話三〇九番

● 季節鳥料理 ●  
やな川  
うなな  
はなな  
はなな  
魚榮へ  
平町  
電話四二四  
配達迅速

時計 蓄音器 レコード 眼鏡類 懐中電燈  
高橋時計店  
平町 播磨小路

### 記念發賣號マーツ特許

△國產高級車 三 菱 號 金五拾貳圓也  
△經濟高級車 菊 菱 號 金五拾圓也  
△盜難豫防運搬 特許マーツ號 金五拾圓也  
△車代用頑固車 アーレンシー號 金四拾五圓也  
△高級實用車  
發賣元東京會社 鹽野製作所  
代理取扱店 平町 エビスヤ 自轉車店 電六六四番



(號 ツ ー マ)

景品付 月賦販賣  
販賣方法 八ヶ月分割拂但し四回御拂込にれば現品御渡し致します(日掛歡迎)  
締切 賣切れと同時に(各車一百臺)  
景品抽籤 最終掛金領收後直に常磐毎日新聞社々員立會の上舉行す  
景品 一等より五等迄空籤なし  
上等三重總桐タンス 上等茶籠筒  
座蒲團五枚一組 南部鐵瓶 三越製御盆  
等々